

市民の皆さんと一緒に作る教育
模擬患者参加型のコミュニケーション演習
～緩和ケア認定看護師教育課程の場合～

看護学科 准教授 筑後幸恵

埼玉県立大学では平成17年度から、すでに看護師として働いているベテランの看護師が緩和ケアの専門的な知識と実践力を身につけるために学ぶ緩和ケア認定看護師教育ⁱを行っています。

緩和ケアの目的は、がんになっても患者様とご家族が人生最期まで自分らしく生きるのを支援することです。そのために、この教育課程で学ぶ看護師たちは改めてこれまでの経験を振り返り、がんという病気から生じる痛みを和らげる薬剤のことや心のケアについて学びを深めます。特に緩和ケアの認定看護師には、患者様とご家族の方々がご自分の思いや希望を表現できるように関われるコミュニケーション能力や辛さや悲しい気持ちを和らげるコミュニケーション能力が期待されています。

今回は、市民の皆様が主体的に活動されている本学の埼玉県立大学S P研究会ⁱⁱのご協力を得て作り上げた演習について紹介いたします。

1 模擬患者様と行う研修会

1) 模擬患者研修会の実際：研修会での主な内容は下記の通りです。①～④までを教員が説明し、その後は事例のがん患者を演じていただけるように自由に意見交換をします。また、看護師の適切な対応についても解説をまじえながらお伝えします。

- ①「緩和ケア認定看護師の役割」、「がん患者の心理」について説明する
- ②コミュニケーション演習の目的や具体的な方法について説明する
- ③コミュニケーション演習に登場する患者様について説明する
- ④看護師とコミュニケーションを行った後の振り返りについて説明する

2) 演習の実際：演習に登場する患者様は医師から「安静にしてください」と言われたばかりなのにトイレまで歩いて行き、看護師に呼び止められたという場面設定です。会話の時間は10分間。その時に他の看護師がビデオ撮りをします。会話終了後には模擬患者様から感想や意見をいただきます。さらに、看護師たちはグループで後日ビデオを再生し、自身のコミュニケーションについて振り返りを行います。

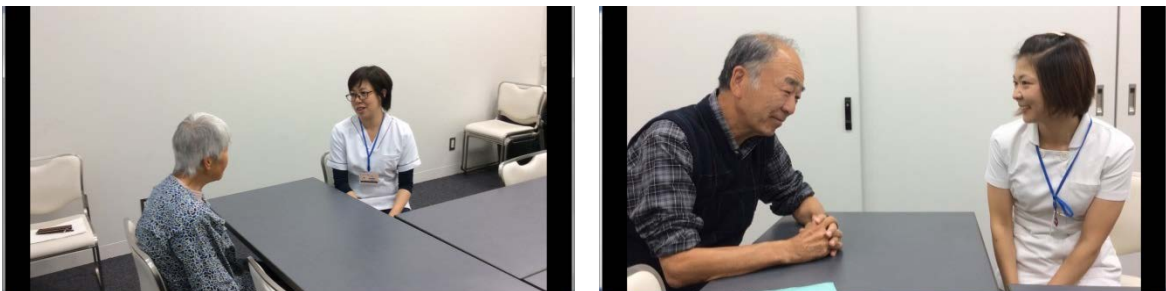
2 演習の成果について

1) 研修会では、模擬患者様からは「緩和ケアや緩和ケア認定看護師の役割について学ぶことができた」、「がんになった時のことや最期の過ごし方についても考える良い機会になった」という意見をいただくこともあります。

そして、演習の中では、看護師の対応によっては思う存分気持ちを伝えたり、中には、嬉しくて自然に涙が出るという体験をすることもあります。また、逆に自分の思いを十分に伝えられずすっきりしないという体験をする場合もあります。このような模擬患者様の体験は直接感想や意見として看護師に伝えていただきます。看護師にとっては、患者様の本音を初めて聞ける場になり、良いところも改めたい課題も実感できる場になっています。そして、患者の立場から望まれる理想的な看護師の態度や対応について考えさせられる機会にもなっています。

2) 看護師は、この教育課程で患者様の様々な思いを聴く技術、患者様やご家族が話しやすくなるようなコミュニケーション技法、気持ちを癒すコミュニケーション技法などを学習します。演習後は、自分のコミュニケーション場面を映像で見ることにより、学びが活かされているのかという自己評価をします。そして、これまで全く気づかなかった自身の姿勢や態度、癖などコミュニケーションの課題なども見いだすことができます。

また、演習後のグループワークでは、模擬患者様 1 人に 5 人の看護師が交代で対応しますので、他のメンバーのコミュニケーション場面を見ることにより、“看護師の一言で患者の表情も言葉も変わる”、“看護師の対応で会話の内容が変わる”、“コミュニケーション力は看護ケアの質を変える”という大切なことを実感することができるのです。



この演習は、平成 21 年度から実践しています。初回からずっと参加して下さっている方もいらっしゃいます。埼玉県立大学 S P 研究会の市民の方々は大変熱心な方で、毎年本当の患者様のように演じてくださいますので、年々充実した演習内容になっていると感謝しております。

認定看護師とは、高度化し専門分化が進む医療の現場において、水準の高い看護を実践できると認められた看護師です。「認定看護分野」ごとに日本看護協会が認定しています。現在 21 分野の認定看護師があり、緩和ケア認定看護師は緩和ケアの分野で認定された看護師です。

ⁱⁱ 埼玉県立大学 S P 研究会は、平成 21 年 4 月 25 日に設立され、大学で S P (simulated patients=模

擬患者) を実施する方を会員として組織し、大学の指揮監督のもと活動をしております。実際、理学療法学科 OSCE (客観的臨床能力試験) 等への参加、技術の修得・維持・向上のための研究会等の開催、情報交換を行っております。

* 写真の使用については、承諾を得ています。